



緑に囲まれた「六条山院」正面玄関

親鸞聖人の聖地に「六条山院」

令和七年一月誕生

世界初 空中庭園擁する新納骨堂



東山浄苑報

本願寺連枝
宇霊眞院釋尼妙観

東山浄苑報 第3号
令和7年1月1日刊

京都市山科区上花山旭山町 8-1
東山浄苑東本願寺
TEL 075-541-8391(代)
FAX 075-531-1663
発行責任者
東山浄苑報編集委員

最上の仏縁に浴する新納骨壇 完成イメージ図

大型壇 735 万円(税込)

横 90cm×高さ 229cm×奥行 44.5cm

中型壇 450 万円(税込)

横 60cm×高さ 190cm×奥行 35cm

標準壇 310 万円(税込)

横 40cm×高さ 190cm×奥行 35cm



佛法興隆の一大聖地はもちろん、神佛習合の文化と精神を国内外に伝える世界的拠点として、国際社会から高く評価される世界最大最高の納骨墓所・東山浄苑東本願寺。嘉枝堂の納骨壇が残り僅かとなったことから、浄苑門徒各位からの要望に応え、令和七年一月に新納骨堂「六条山院」が開堂します。

伽藍は地上一階、地下四階建ての鉄筋コンクリート造で、大谷暢順本願寺御法主台下(当財団理事長)自ら発案された壮麗な新納骨壇を安置するほか、京都市内を眼下に望む世界初の空中庭園、さらには、「本願寺近代三代傳持」と尊崇される暢順台下、当財団創設者・東本願寺第二十三世彰如上人、第二十一世嚴如上人の木像を安置する荘厳な開山堂も擁します。

- 六条山院のご紹介
- 春彼岸会のご案内
- 花まつりのご案内
- 孟蘭盆会のご案内

- 1 ページ
- 2 ページ
- 2 ページ
- 3 ページ

- 東山浄苑読経お扱いのご案内
- ご葬儀、ご自宅等での法要のご案内
- 文化活動・本願寺サロンのご紹介
- 無料送迎バスのご案内

- 3 ページ
- 3 ページ
- 4 ページ
- 4 ページ

最上の仏縁に浴する新納骨壇

また、工事に伴う発掘調査の結果、親鸞聖人の遠祖・藤原鎌足一族の墳墓が発見されました。

鎌足一族は京都・山科に住み、浄苑が建つ六条山を西方浄土と仰ぎ見ていたとされ、親鸞聖人と藤原鎌足の聖地に建つ新納骨堂「六条山院」では、最上の佛縁に浴することが出来ます。

見学会や現地説明を受付していますので、総合受付(尚書)までお尋ねください。



京都市内を一望する世界初の空中庭園

六条山院納骨壇 見学会

令和7年
1月26日(日)
2月9日(日)
3月2日(日)
いずれも午前10時～
事前予約制

六条山院現地のご案内、納骨壇のご説明を担当者が行います。

そのほか、現在の納骨壇からの買い替えや移籍等の個別のご相談もお受けします。詳細は総合受付・お電話にてお尋ねください。

☎ 075-541-8391

心の道標

福の神は貧乏神と連れ立って歩いている

「大般涅槃經」といってお経の中に、

「粗末な身なりをした醜い女の人がやってきました。私たちが驚いて、その女性を追い返そうとします。すると、彼女は、「先ほどの福の神は私の姉です。私たち姉妹はいつも離れたことがないので、私を追い出さず、姉も追いつき、私を助けてください」といいます。すると、私たちは、この真理に気づかなければなりません。」

こんな話があります。

ある家に、華やかな着物を身にまとった気品のある美しい女の人が訪ねてきました。

その家の主人が「どなたでしょうか？」とたずねると、「わたしは人びとに富を与える福の神です」と答えました。主人は喜んで、その女性を招き入れ、手厚くもてなしました。すると、そのあとから、

「貧乏神です」と答えると、「貧乏神です」と答えました。主人は驚いて、その女性を追い返そうとします。すると、彼女は、「先ほどの福の神は私の姉です。私たち姉妹はいつも離れたことがないので、私を追い出さず、姉も追いつき、私を助けてください」といいます。すると、私たちは、この真理に気づかなければなりません。」

「人間は死んでもまた生き続ける」より一部抜粋

大谷暢順著